

平成 18 年 4 月 20 日



各 位

会 社 名 株 式 会 社 A C C E S S
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 荒 川 亨
(コード番号 4 8 1 3 東証マザーズ)
問 合 せ 先 常 務 執 行 役 員
経 営 企 画 本 部 長 榎 崎 浩 一
(T E L . 0 3 - 5 2 5 9 - 3 5 1 1)

のれんの処理方法変更による通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 18 年 3 月 23 日の決算発表時に公表いたしました平成 19 年 1 月期（平成 18 年 2 月 1 日～平成 19 年 1 月 31 日）の業績予想を、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結 中間期業績予想数値の修正（平成 18 年 2 月 1 日～平成 18 年 7 月 31 日）

（単位：百万円、％）

	売上高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	8,895	1,184	7,264
今 回 修 正 予 想 (B)	8,895	6,974	7,264
増 減 額 (B - A)	-	5,790	-
増 減 率 (%)	-	489.0	-
(一 次 参 考)			
前期実績（平成 17 年 7 月中間期）	6,040	1,042	627

2. 連結 通期業績予想数値の修正（平成 18 年 2 月 1 日～平成 19 年 1 月 31 日）

（単位：百万円、％）

	売上高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	27,764	5,127	9,648
今 回 修 正 予 想 (B)	27,764	7,177	9,648
増 減 額 (B - A)	-	12,304	-
増 減 率 (%)	-	240.0	-
(一 次 参 考)			
前期実績（平成 18 年 1 月期）	17,269	4,604	2,784

3. 修正の理由

平成 18 年 3 月 23 日に公表いたしました平成 19 年 1 月期通期（連結）及び中間（連結）業績予想におきまして、前連結会計年度より実施いたしました、主にパームソース・インクの企業買収に係るのれんの償却費を特別損失として区分計上しておりました。当社といたしましては、これらのれんの償却費は、臨時的かつ巨額であり、また、非経常的な費用であることから、特別損失として処理することが、株主をはじめとする当社の利害関係者が当社の財政状態及び経営成績を適切に読み取れる処理方法であると判断いたしました。

しかし、当社の会計監査人であるあずさ監査法人との度重なる協議を経まして、わが国における会計慣行及び関係会計諸規則に照らし、販売費及び一般管理費とすることが適当であるという結論に至り、業績予想の修正（のれんの償却費を計上する勘定科目の修正）を行うことといたしました。

（のれんの取扱い修正内容のまとめ）

（3月23日公表業績予想）

のれんを、効果の及ぶ期間である2年間にわたり規則的に償却し、償却額は特別損失として処理。

（4月20日公表修正業績予想）

のれんを、効果の及ぶ期間である2年間にわたり規則的に償却し、償却額は販売費及び一般管理費として処理。

4. 修正の内容

売上高

業績予想数値の変更はありません。

経常利益

当初、特別損失として処理を予想しておりましたのれんの償却額（中間期5,790百万円、通期12,304百万円）を販売費及び一般管理費で処理することとしましたので、償却額相当分の経常利益が減額されています。また、特別損失として処理を予想しておりましたのれんの償却額が販売費及び一般管理費で処理することとなり、特別損失として処理すべき内容は業績予想の中ではありません。

当期純利益

業績予想数値の変更はありません。

5. ご参考

のれんとは

のれんとは、被取得企業又は取得した事業の取得原価が、取得した資産及び引受けた負債に分配された純額を超過する額をいう。のれんの会計処理は、二十年以内のその効果の及ぶ期間にわたって、定額法その他の合理的な方法により規則的に償却する。（以上、「企業結合に係る会計基準（平成十五年十月三十一日企業会計審議会）」より抜粋。）

今回ご説明しているのれんの償却費において、今後、現金等の支出が発生することはありません。単体の業績見通しに関する修正は行っておりませんが、3月23日に発表しました中間期及び通期の業績予想は以下のとおりです。

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
中間期	5,530	990	594
通期	18,000	6,408	3,844

（注）業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社グループで判断したものであります。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合がありますので、この業績予想に全面的に依拠して投資等の判断を行うことは差し控え下さい。

以上